

はじめに 介護保険の転換期に——高口光子の解雇から見えるもの

上野千鶴子

介護保険制度ができて二三年が経ちました。介護保険の理念であった「介護の社会化」は、高齢者と介護家族に大きな恩恵をもたらしました。しかし、創設時（二〇〇〇年）に「走りながら考える」というスタートを切ったこの保険は、改定を重ねるごとにどんどん使いくらいものになってきました。三年に一度改定される介護保険は、第一回介護報酬改定の二〇〇三年度から利用抑制に転じて、年々使い勝手が悪くなってきています。深刻な問題です。

そこへ二〇二二年の三月に飛び込んできたのが、現場の指揮官として長年にわたり並はずれた能力を発揮してきた介護業界のカリスマ、高口光子さんが、二〇年間勤めた法人を辞めることになったという驚きのニュースでした。

私と高口さんは二〇年以上の付き合いです。高口さんが勤務している施設を何度も訪ねたり、逆に高口さんが私の講演会に職員を連れて来てくれたりと、折に触れて高口さんの変化と進化を見守ってきました。現場を訪れて、彼女が辣腕のマネージャーとして活躍する姿も見てきました。だから、辞める理由が何一つ思い当たりません。いったい、何が起きたのかと連絡を取った私は、彼女がクビを切られたという事実を知って驚愕きょうがくしました。

介護施設を立てなおしたり、新しい施設を一から作り上げてきた彼女は、まさに日本の「介護のプロ」でした。そんな人物がいつも簡単に解雇されたという事実。これは、彼女の個人の問題ではなく、時代の転換期だと直観的に感じました。

高口さんは今まで介護のプロとして現場のケアの質を上げようと努力してきました。ただ、彼女は制度に対して一切不満を口にしませんでした。私はそれをずっと不満に思っていました。

だからこの解雇を機に、高口さんと話すことで日本の介護保険制度に訪れている危機について考えてみたいと思いました。今回、彼女の話を聞いてわかったのは、介護保険制度の改悪によって、施設の現場も恐ろしいことになっているということでした。

私が介護の研究を始めたのは、介護保険制度がスタートする直前の一九九九年。私は、介護保険は世界に誇れる制度だと思っています。介護保険は、それまで家族（主に嫁）が担っていた介護を社会化するという大きな改革でした。何よりも家族のいない私のような者のための制度ができたと思っただけで大喜びし、自分自身のためにも研究を始めました。ところが、制度開始から二三年経った今、とんでもないことが起きようとしています。

介護保険制度は二〇〇〇年に生まれてから、ずっと「被虐待児」と言われてきました。そして成人を迎えようとしているところに持ち上がった二〇二〇年度の介護保険法の改定案は、制度を後退させる改悪でした。このまま見過ごすわけにはいかないと私は「高齢社会をよくする女性の会」代表の樋口恵子さんと怒りの集会を主催して、衆議院会館を三〇〇人で埋めました。このとき出した抗議声明の中で、造語の名人の樋口さんが「在宅（おうち）がだんだん遠くなる」と名言を吐いて、在宅介護の危機を訴えました。

それから三年後、今回二〇二三年の改定に先立っては、さらに史上最悪の改定案が政府から提出されました。自己負担を原則一割から二割へ、要介護1、2を介護保険から外す、ケアプランの有料化、福祉用具の一部をレンタルから買い取りへ、施設にロボットを入れ

て職員配置を減らすなど、ひどいものばかりです。二〇二二年秋に実行委員会を立ち上げて「史上最悪の介護保険改定を許さない!!」という連続アクションを実施しました。オンラインで四回、ハイブリッドで一回の集会はすべてユーチューブで無料視聴できるようになっています。私たちの運動の成果もあって、自己負担率の増加やケアプランの有料化などはすべて先送りになりましたが、まだまだ油断はできません。

ここに至るまでの介護保険制度改定の流れや、今回の高口さんの解雇を聞いて、私はますます、このままでは、おひとりさまの老後が危ない！と感じています。

今の日本には「人生一〇〇年時代」という名の「死ぬに死ねない時代」が来ています。誰もこんなに長生きするなんて夢にも思っていなかったでしょう。しかし今、介護はあなただの親にも、そしてあなた自身にも切実な問題になっています。

私たちは人類が経験したことのない超高齢社会を迎えています。そして日本の介護保険制度は、その超高齢社会に対する、これまた誰も経験したことのない新しい挑戦でした。その介護保険制度のもとで、さまざまな介護の実践や高口さんのような人材も生まれ、育ちました。

だからこそ、本書では高口さんの介護施設での経験を振り返ることで、今、日本の介護がどういう状況下にあるのかを見つめなおし、安心して老いていける社会にするにはどうしたらいいのかを、ともに考えていきたいと思えます。

参考資料 「史上最悪の介護保険改定を許さない!!」連続アクション

第一回 二〇二二年一〇月五日

「総論、利用者の原則2割負担とケアマネジメント有料化を中心に」  
YouTube 配信 <https://www.youtube.com/watch?v=s-7b8TvEPV0>

第二回 同年一〇月一九日

「『要介護1、2の総合事業移行・福祉用具の買い取り』を中心に」  
YouTube 配信 <https://www.youtube.com/watch?v=MCfIHdjitzY>

第三回 同年一月三日

「介護施設の職員配置基準をICTで引き下げることにはできない」

YouTube 配信 [https://www.youtube.com/watch?v=DXL7N861l\\_Q](https://www.youtube.com/watch?v=DXL7N861l_Q)

第四回 同年一月一〇日

「訪問医療・看護の現場から〜介護がなければ在宅医療はできない！」

YouTube 配信 <https://www.youtube.com/watch?v=ElJj7tU0U0o>

「院内集会および記者会見」同年一月一八日

YouTube 配信 <https://www.youtube.com/watch?v=rFzkye0VJ60>

※URLは二〇二三年九月一五日確認